



2020年11月10日

各位

会社名 ヨネックス株式会社
 代表者 代表取締役社長 林田 草樹
 (コード番号7906 東証第2部)
 問合せ先 常務取締役 米山 修一
 TEL (03) 3839-7112

2021年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2020年8月12日に公表した2021年3月期の第2四半期連結業績予想値と本日公表の実績値に下記のとおり差異が生じたので、お知らせいたします。

記

2021年3月期第2四半期連結業績予想値と実績値との差異 (2020年4月1日～2020年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 21,000	百万円 △900	百万円 △500	百万円 △600	円 銭 △6.86
実績値 (B)	22,093	△215	144	△73	△0.84
増減額 (B - A)	1,093	685	644	527	
増減率 (%)	5.2	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2020年3月期第2四半期)	31,820	1,711	1,564	1,169	13.37

差異の理由

2021年3月期第2四半期連結累計期間の業績につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け前年を下回るものの、感染対策を講じながら各種競技で需要を喚起するための小規模大会やイベントの実施、契約選手の活躍をはじめとしたテニスの話題等が奏功し、売上高は想定を上回りました。2020年8月12日に業績予想を公表した時点では、国内において新型コロナウイルスが再拡大していたこともあり、販売や自社工場の稼働状況の回復を保守的に見積もっておりましたが、自社工場の稼働の回復に加え、想定よりも円高に推移し売上総利益率が改善したことにより、各利益項目ともに当初の予想を上回りました。

なお2021年3月期の通期業績予想につきましては、主に海外において新型コロナウイルス感染症の再拡大がみられたり、感染状況が改善していない地域も多く、特に室内競技である主力のバドミントンの販売の回復が遅れております。また、上期に国際大会中止等により減少していた広告宣伝費は、スポーツ活動の再開に伴い、さらなる市場活性化へ向け積極的なマーケティング施策を行うことにより増加する見通しです。以上により、現時点で2020年8月12日公表の2021年3月期通期業績予想数値は据え置いております。今後の業績動向により、業績予想の修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

(注) 業績の詳細につきましては、本日公表の「2021年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

以上